

伝道の試み 科学art,混声4部合唱

副題ーーアート、音楽の公共性ー

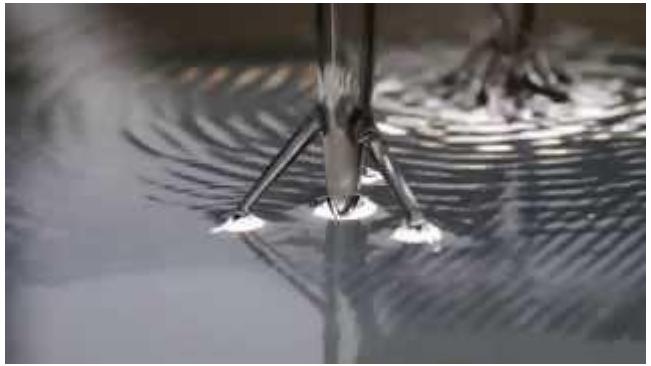
1. 音楽を見るようにしたい: 15年前⇒流体ハーモニー、音楽のさざ波
水表面重力波を使って、丁度、音響波の振動数に相当する 重力波の速度が、目に見える程数mm～数10cm)であることを、発見。FPS社のスピーカーを用いて
音響振動を水面に伝え、観察した。当初は、干渉波のぎこちない変化であったが、和音
の変化—メロディー—を表現することが音楽を表現することと解釈して、音響信号の変化
度—微分—を水面に伝えるようにすると、音楽に合わせた動き、また、和音の変化が見
事に表現されることが分かった。

10年前からYoutubeで公開しているが、未だに理解者は少ない。Facebookで抽象絵
画のアーティストに見せて理解を得ている。

この対話では、音楽は時間と共に、私たちが楽しめる実体であり、"私"が楽しめることは、そ
の背景を私が作ったのではないこと。何かの存在が私たちにそれを与えて

与えてくれていること。だからこそ、同じ自然を構成する水面の波は。その音楽を表現したのだと、理解しています。勿論、流体力学の法則から予測できたとしても、その法則は、人が自然を、忠実に観察して精神を活用して記述した方程式です。何も、人が創ったのではない。音楽を聴きつつ、自分が感じるものを光で表現したような、人が作ったものではない。(Artには、"私"が作ったのだと、そのような物があり、また、ファンはそれを喜んで見ていますが)。Youtubeを見せる。これからお見せする流体ハーモニーは、楽器や声の周波数による水面上に出来る干渉波であり、原則的に純正律の和音を考えています。現在は平均律ですが、大体は同じと思います。一時期、音律解明研究者がやってきて、水面上の干渉波では、どうなるか、確かめようとしていました。水面の波の場合、厳密な測定ができないため、諦めました。





2. この技術を東京ビッグサイトでの”先端技術展”で展示した時。人間集団との対話。 公共性が構造転換している時。

そのブースは奥の方での”AI展”にも通じる入口の近くであったため、特に多くの方々が通り過ぎた。一日に約1万人が通り過ぎたと思われます。自分にそっくりな方が通り過ぎた。人は、家族、親戚、友人—それも学生時代、会社時代、学会関係、趣味のフルート関係、100人オーダーの知人がいます。1000人程度でも。Facebookの友人は4,000人でした。でも万人規模になると、もう、隣人とは言えなくなる。一日一万人がブースを通過していき、毎日、私そっくりの人がとおり過ぎた。普通、地方公共団体は数万人となると市となるようですが、意義深いと思います。私たち日本社会は、公共という単位がない。新聞を読み、週刊誌を読み、スマホからニュースを見て、一気に小泉信一郎、ある芸人まで、プロ野球選手まで行ってしまう。また、世論という単位も使われる。世論調査は新聞社NHKで良くされるが、質問の不十分さ、わざとらしさ、タイミングの悪さは感じないだろうか？高校の必須科目に”公共”という科目が出来たのは、丁度、日本人が抜けていた概念を高校生から身に付けようとした動きではないか。特に、日本の村社会意識、”戦争反対”、“原発反対”、は、誰に対して反対だろうか？20年前は、政府に対して叫んでたような気がするが、今、あらゆる通信方法が揃った時は、誰に叫ぶかが大切になっている。西欧では人対人の哲学、社会哲学が、進んでいる。日本は文化は進んだ国家です。だから、この”公共”という概念が隠れてしまっている。日本の経済はすばらしい、また報道も、社会問題討議の場もある。だからこそ、根底にある”公共”概念が隠れてしまう。

現代の社会学者：ハーバーマス(1929～)

教育図書の高校教科書 12ページにこう書かれています。

合理化された現代社会では、経済システムと官僚政治より、**人間の生活社会が植民化されている**。人々のコミュニケーション的行為による公共圏の再生が必要です、と。公共生の構造転換

Key words: 国家、宮廷、官僚、

大切⇒ 文芸的公共、 政治的公共(地方自治体)、自ら意識して作る公共圏 (生活共同クラブなど)

私的、小家族、商品、交易、市民的商品交易、

現在：私の目の前には”日経業界地図 2024年度”という分厚いカラーの本があり、素晴らしいと思える日本の経済業界の骨格、関連図、昨年一今年一来年予測まで書かれています。私たちの給料と消費が載っています。一方、国会、官僚は、国民の声とか地方公共団体の声まで扱うのが限度で、その途中にある公共をくみ取るのは無理です。つまり、1,000人～100万人のグループから市民層は、自らその立場を築き、幸福な世界を模索、実現し、また、後世に良きものを残していく義務があるのです。日本にはいつもその試みはされていますが、”公共”という概念がないため、全て、1匹狼になっています(横を広げる動きはありますが)。この”意味を基礎づけるのは、被造物という概念であり、また、キリスト教でいう創造されたすべての管理を任せられた「人間」です。”